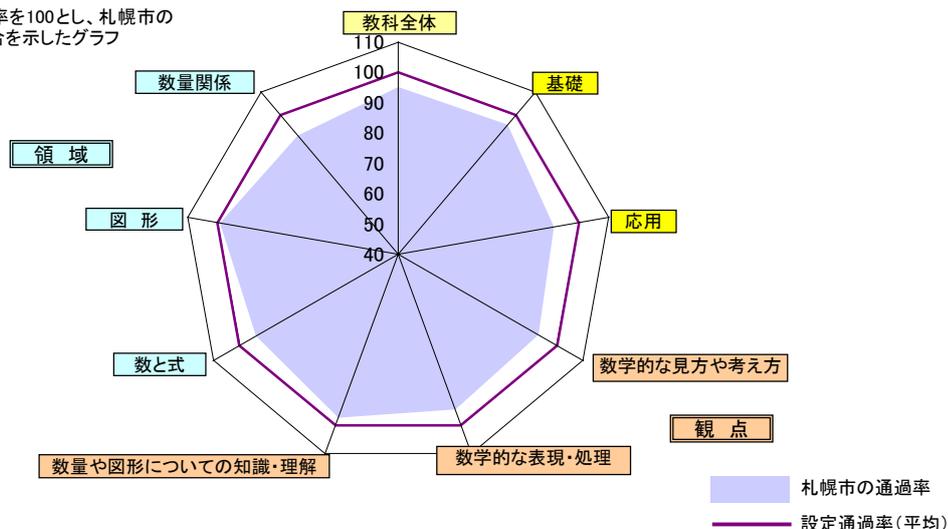


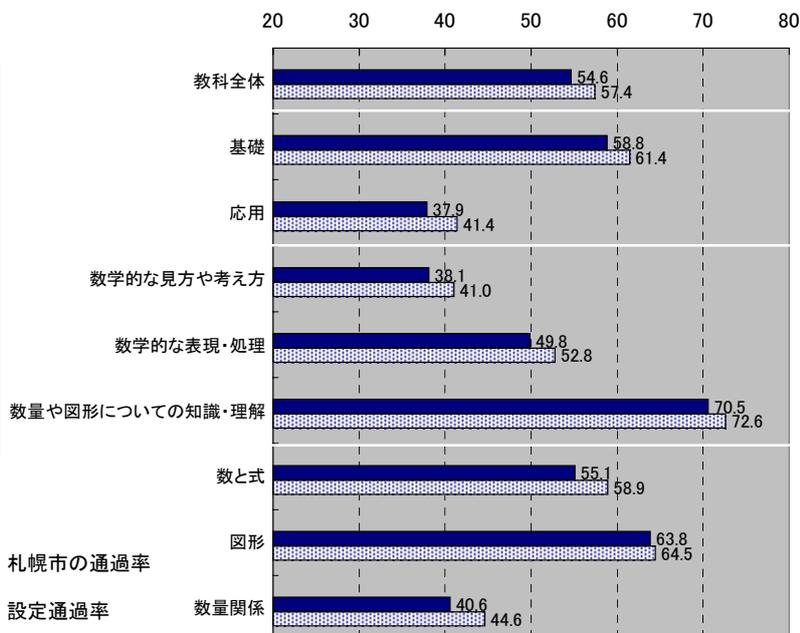
■通過率と設定通過率との比較(設定通過率を100とした場合)

※設定通過率を100とし、札幌市の通過率の割合を示したグラフ



■通過率と設定通過率との比較

項目	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)
教科全体	54.6	57.4
基礎	58.8	61.4
応用	37.9	41.4
数学的な見方や考え方	38.1	41.0
数学的な表現・処理	49.8	52.8
数量や図形についての知識・理解	70.5	72.6
数と式	55.1	58.9
図形	63.8	64.5
数量関係	40.6	44.6



【通過率】

- ・数学における札幌市の通過率は、観点、領域別等、全体として、設定通過率と有意(±3ポイント)に差がなく、ほぼ同程度であるが、領域別に見ると下回っているものがある。
- ・教科全体で見ると、通過率に有意な差は見られないが、設定通過率が57.4%であるのに対して、札幌市の通過率は54.6%であり、2.8ポイント下回っている。
- ・基礎と応用で見ると、「基礎」は、有意に差はないが、2.6ポイント下回っている。「応用」は、3.5ポイント有意に下回っている。
- ・観点別に見ると、「数学的な見方や考え方」、「数学的な表現・処理」については、2.9ポイント下回っている。
- ・領域別に見ると、「数と式」は3.8ポイント、「数量関係」は4.0ポイント有意に下回っている。
- ・基礎と応用では「応用」、観点では「数と式」及び「数量関係」において、札幌市の通過率と設定通過率との有意差が見られ、教科全体の通過率を下げている傾向が見られることから、特に、指導の充実を図ることが必要である。